

令和4年度 第六日暮里小学校学校経営方針

第六日暮里小学校

校長 島埜 秀男

『笑顔あふれる魅力ある学校を目指して』

～学校・家庭・地域の連携を基盤として～

1 目指す児童像

1 心豊かな子供 (礼儀正しさを身に付け、思いやりや感謝の気持ちをもって行動できる子)

◇周囲の人を大切にする児童 (人権感覚を磨く)

- ・友達、家族、お年寄り、障がいのある方、地域の方々、困っている人に適切な行動をすすんでできる。
- ・みんなのために係や当番をすすんで取り組むことができる。

◇礼法を学んで実践する児童

- ・時と場合に応じた正しい礼儀作法や言葉遣いを身に付ける。

◇どこでもあいさつする児童 (コミュニケーションを大切にする)

- ・どこでも誰にでもさわやかなあいさつをして地域の一員であることを自覚し、地域行事に積極的に参加する。
- ・感謝の気持ちを言動で表現できる。「ありがとう」「お疲れさまでした」と声を掛け合う姿
- ・所属意識の向上を図る。「ってきます」「いってらしゃい」「ただいま」「おかえりなさい」

1 進んで学ぶ子供 (適した環境の中で自ら学び方を学び、課題解決できる子)

◇学習規律を学び授業に集中する児童

- ・先生の話をしっかり聞きとって発問に答えたり、ノートに書いてまとめたりする。
- ・話し方、聞き方のルールを守った落ち着いた学習態度
- ・六日小伝統・文化ノートの効果的活用による魅力ある学び

◇話合いによってよりよい問題解決できる児童 (聞くこと・話すこと・話し合うこと)

- ・課題に気付き、解決のために積極的に話し合いができる。
- ・話合いで、一人一人の考えを尊重してよりよい解決ができる。
- ・自主的、自治的活動ができる。
- ・話合いは聞き合いであることの重視
- ・日常の学習をSDGsと関連させて意識的に指導する。(SDGsカードによる視覚化)

◇家庭学習をがんばる児童

- ・15分×学年を目安に実践+読書・自主学習の推進←課題を見付け、計画的、継続的に学習する力を身に付ける。

◇すらすら音読できる児童

- ・1分間に350字を読む速さで朗々とした声で音読できるように練習する。
- ・できるかぎり様々な教科の中で音読の機会を設ける。国語の単元では、単元の終わりにテストを実施して達成感を味わわせる。
- ・音読法の工夫をし、楽しく音読する。←読めることが自信となり学力向上につながる

◇学校図書館を上手に活用できる児童

- ・「六日小学校図書館活用ノート」による発達段階に応じた指導
- ・「隙間読書」の奨励←いつでも手元に本のある生活

- ・マイ辞書による日常的に活用する習慣を身に付け語彙力の向上と豊かな言語環境を育む。

◇ICTの効果的な活用

- ・GIGAスクール構想に伴うTPCの有効活用を図る。
 - ※基本的なリテラシーは、情報教育年間指導計画に基づいて定着させる。
 - ※定期的な持ち帰りによる課題を設定する

1 **元気な子供**（心身共に健康で心地よい生活リズムをつくることができる子）

◇学校生活の基盤「3名人の取り組み」

- ・「あいさつ名人」「靴揃え名人」「廊下歩き名人」
あいさつ名人・廊下歩き名人については、チャレンジカードを実施する。

◇早寝、早起き、朝ごはんを行う児童（自己の健康管理ができる子）

- ・生活チェックをしっかりと行い習慣づける。日常的指導の重視

◇気持ちのこもったあいさつができる児童

- ・周囲の人たちに元気にするあいさつができる。

◇外で元気に遊ぶ児童（すすんで体を鍛える子・遊びは子どもたちの大切なコミュニケーション）

- ・休み時間は外でルールを守ってみんなで元気に遊んで楽しく過ごす。
- ・各種カード（水泳・縄跳び・マラソン・鉄棒等）を積極的に活用し、めあてをもたせて体力向上を図る。

基盤になる取り組み ～安定した生活習慣は、学力向上の基盤～

① 褒める指導の重視

- ・できていることを見逃さず、具体的に認めて褒めることは、指導技術である。
- ・児童相互に友達のよさを認め合う場を設定する。

② 「六日しぐさ」の理解と実践

- ・学校生活、学習、健康、給食、宿泊についてのスタンダード

③ 3名人の取り組み

□あいさつ名人

- ・コミュニケーションの第一歩である。
- ・「あいさつはオアシスさ」を合い言葉に指導の充実を図る。
あかるく、**い**つも、**さ**わやかに、**つ**づけて、**は**っきりと、
おはよう、**あ**りがとう、**し**つれいします、**す**いません、**さ**ようなら

□靴揃え名人（当たり前前を当たり前前にできる子）

- ・家でも学校でもどこへ行っても靴を揃えられるようにする
- ・靴がどこでもそろえられる子は落ち着いて丁寧に行動する習慣が身に付き、他の生活習慣向上へ結びつく。
- ・最後まで物事に丁寧に取り組むことにつなげる。

□廊下歩き

「はさみ」の指導「走らず・さわがず・右側通行」

- ・他者を思いやる気持ちの育成につながる。
- ・見通しをもって行動する力をつける。

④ 特別活動の重視（集団活動の中で役割をもちお互いのよさを活かしながら生活できる子）

◇課題に気付き、課題解決までの見通しをもった取り組みができる児童

◇活動のめあてを意識して取り組むことができる児童

◇みんなで豊かな学校生活を築こうとする児童

◇学級経営とキャリア教育の要として役割

学級活動（重点）

◇よりよい問題解決ができる児童

・問題の発見→話し合いの計画→話し合い→準備→実践→振り返りのサイクルを意識して活動できる

◇係や当番をがんばる児童

・係や当番の大切さを理解し、豊かな学校生活のために計画的な活動ができる。

◇協力して働く児童

・みんなと力を合わせ、見通しをもって一人一人が役割を果たし時間内に処理できる。

◇みんなの役に立つ児童（有用感のもてる居場所づくり）

・みんなのために係や当番にすすんで取り組むことができる。

※保護者の願いを知り学級目標について話し合う

2 目指す学校像

①子どもが行きたい学校（成長が実感できる学校）

◇学校生活が楽しい学校

◇学習がよく分かる学校

◇みんなの心が通い合う学校

②保護者が通わせたい学校（信頼される学校）

◇安全な学校で安心できる学校

◇子どもがよく育つ学校

◇信頼できる学校

③地域があってよかったと思う学校

◇地域の中で子どもが活躍する

◇学校と連携が図れる

④教職員が高め合う学校（学校力の向上が図れる学校）

◇教職員が協働する学校

◇責任を果たす学校

◇教育技術を高め合える学校

3 目指す教師像

①専門家としての確かな教育技術を身につけ、授業の充実を図る教師

◇褒める指導の重視

◇日々教育技術を高めながら、児童がよく分かる授業改善を行う

◇「六日しぐさ教職員編」「六日小OJT資料」を有効活用し自信をもって適切な指導ができる。

②教職に対する強い情熱を持ち、児童を慈しみプロの教師としての責任感と豊かな社会性をもつ教師

◇教師が変われば児童が変容することを信じ資質向上に努める

◇地域に交わり地域に貢献する（地域理解は児童理解となる）

③丁寧で迅速な対応を組織的に行い、保護者・地域から信頼される教師

◇相手の立場に立ち、報告・連絡・相談を即刻、即日に行って対応する

④教育公務員としての自覚に立ち、保護者、地域と積極的に協力して、共に子どもを育てる教師

◇家庭訪問や個人面談はもとより、保護者との連絡を密に協力して児童を育成する

◇保護者会の充実を図り、保護者会に行ってもよかったと思える工夫をする。



知っておいてほしいこと

【特別支援教室（六日教室）】

お子さんの中には、発達上の特性から学習や対人関係がうまくいかずに自信をなくしたり、誤解を受けたりすることがあります。人は誰でも「得意なもの・苦手なもの」があります。子供達がもてる力を発揮し、生き生きと学校生活を送ることができることを目指しています。周囲の皆様のご理解と温かいご協力をお願いします。

区では、お子さんの可能性を育むため、これまでの情緒障がい等通級指導学級にかわり、本校では平成29年度から「特別支援教室（六日教室）」を設置しています。

気軽にご相談いただけます。ぜひ有効活用をお願いします。また、本年度から本校は特別支援教室巡回指導の拠点校としての役割も果たすことになりました。

【SNS家庭ルールのお願い】

携帯電話やスマートフォンは、現代社会においては、便利なツールとして普及しています。同時に子供たちへの弊害は、周知の通りです。よい関わり方のためのルールを考えることが必要になってきました。

東京都SNSルール（H31.4改訂版）

- 1 スマホやゲームの一日の合計時間、使わない時間帯・場所を決めよう
- 2 必ずフィルタリングを付け、パスワードを設定しよう。
- 3 送信前には、誰が見るか、見た人がどのような気持ちになるか考えて読み返そう。
- 4 個人情報や教えたり、知らない人に会ったり、自撮り画像を送ったりしない。
- 5 写真・動画を許可なく撮影・掲載したり、拡散させたりしない。

学校ルール（R2.4）

- 1 時間を決めて利用する。
- 2 必ずフィルタリングをします。
- 3 個人情報や友達の悪口は書き込みません。
- 4 グループは作りません。
- 5 大事なことは直接会って話します。
- 6 ネット犯罪に巻き込まれないように安易な発信をしません。
- 7 写真・動画を許可なく撮影・掲載したり、拡散させたりしません
- 8 ネットを通して他人を傷付けません。



次は、家庭でのルールを考えて子供たちをトラブルから守りましょう



家庭ルールでは、使用時間、フィルタリング設定制限を明確にしたり、マナーに関してより具体的に約束を決めたりすることが大切です。

【子ども家庭総合センター開設】

令和2度から「子ども家庭総合センター」が開設されました。児童相談所業務を開始しています。子どもと家庭の状況に応じた支援のために連携を強化しました。支援が必要な子どもや家庭を早期にキャッチして、迅速に対応するなど、予防的対応のより一層の充実を図ります。特に学校との連携強化が大きな目的の一つです。